

# 平成26年度 事業報告

障害児等タイムケア事業 まいペース

## 1. 事業所概要

- (1) 設立年月日 平成19年6月1日
- (2) 施設種別 新宿区地域生活支援事業 日中一時支援事業障害児等タイムケア事業
- (3) 名称および所在地
  - ① 名称 まいペース
  - ② 所在地 東京都新宿区新宿7-3-29 子ども総合センター3F
- (4) 事業所の規模
  - ① 利用者定員 30名
  - ② 構造・面積 鉄筋コンクリート造 地上3階、地下1階、延べ2,030.42㎡の建物の3階部分(363.60㎡)

## 2. 職員体制

### (1) 職員構成

職務	勤務	人数
事業所長・会計責任者	常勤	1
副所長	常勤	1
サービス提供責任者	常勤	1
介護員	常勤	5
介護員	非常勤	1
事務員(会計)	非常勤	1(兼務)
合計		10

※別紙(平成26年度実績状況)を参考に下記を参照

### (1) 昼食作り

利用者と共に月2回程度、定期的に行った。当日担当する職員が立案表を作り、計画、準備、実行、振り返りという流れを確立し、職員の研修的な試みができる。そのため、目的が明確になり参加する子ども達も見通しを立てやすくなり、数名だった参加者が10名を超える日が多くなっている。

## (2) 音楽療法

日本福祉教育専門学校の協力により、毎月2回の音楽療法を行った。音楽療法士の講師、学生と共に音楽に合わせて踊ったり、簡単な楽器を使って音遊びをした。

## 3. 防災訓練

(1) 総合防災訓練 4回

## 4. 職員研修実績

(1) 他事業所訪問 2回

(2) 都育成会研修 3回

(3) 事業所内研修 1回

(4) 支援反省会 毎夕

## 5. 会議

(1) 職員ミーティング 毎週1回

(2) 介護員ミーティング 随時

(3) 合同職員会議 12回

(4) 法人事業所連絡会 24回

(5) ケース会議 3回

## 6. 実習受け入れ

明治学院大学、日本福祉教育専門学校、日本女子大等から適宜実習生を受け入れた。また、学校の夏休み等及び土曜日を中心に学生ボランティアを受け入れた。早稲田大学のボランティアサークル「積木の会」からは、今年度も担当者を配置してくれ多くの学生がボランティアとして活動してくれた。

## 7. 総括

### (1) 現場職員のスキルアップ

25年度は職員が途中で退職するなど人員確保が難しい1年であったが、26年度は安定的に職員が配置できた。そのため、実習生、ボランティアを意図的に多く受け、職員がその都度指導職員として就くことを試みた。様々な外部の人に対して、どのように物事を伝える必要があるのか、どのように話を引き出すかなど、職員研修が実際の現場で行うことができた。最終的には実習生、ボランティアに対しての指導をきっかけに、利用者の接し方等に繋がることを期待している。

安定的に職員が配置できた事もあり、大きな事故もなく、昨年度は事故報告が14件あったが、今年度は6件に減少した。

## (2) まいペースでのプログラム

利用者に楽しく過ごしてもらえるよう、職員一人ひとりが趣向を凝らしたプログラムを行った。

夏のプログラムについては、昨年同様まにあーなと共同で水泳プログラム、遠足プログラムを8回行った。今年度は、夏休み以外にも、冬休み、春休みに遠足プログラムを実施し、年間通して、四季折々の場所にも出向くことができ、大変好評なプログラムとなった。

また、3月の年度末には特別支援学校高等部を卒業する利用者を対象に、お別れ遠足プログラムとして横浜へ行った。前項の水泳、遠足プログラムは職員の研修要素も多く盛り込んでおり、職員同士のコミュニケーションや、支援の仕方など、お互いを評価して普段の支援に繋げる事ができる内容となった。

今年度は、第7回目まいペース祭で初めて利用者と一緒に協調して実施することができた。今までは、まいペース利用者もお客さんとして足を運んでもらうスタイルのお祭りだったが、今回は普段利用している利用者との関わり等も見てもらえるような指向で開催した。その結果、関係者だけで留まることなく、地域の多くの方にまいペースの存在を認知してもらうことができた。